

目 次

はしがき

凡 例

第 1 部 古代の西洋法史

第 1 講 ローマ共和政期 [通史] ————— 3

- 1 王政から共和政へ 3
- 2 市民法 4
- 3 法務官法 8
 - コラム① 当該時期の社会構造 10
 - コラム② ポエニ戦争後の政治体制 13

第 2 講 ローマ帝政期 [通史] ————— 15

- 1 共和政末期 15
- 2 元首政期の法 16
- 3 帝政後期の法 19
 - コラム③ 初期のキリスト教 20
- 4 ユスティニアヌス帝時代の法 23

第 3 講 民事訴訟 [トピック] ————— 26

- 1 法律訴訟 26
- 2 方式書訴訟 31
 - コラム④ 1 ヌムスの握取行為 31
- 3 特別審理手続 36

第4講 契約 [トピック] ————— 38

- 1 契約とは? 38
 - 2 要物契約 39
 - 3 問答契約 41
 - 4 文書契約 42
 - 5 諾成契約 43
- コラム⑤ プラウトウスの喜劇 43

第5講 法学 [トピック] ————— 51

- 1 神官による法解釈・法創造 51
 - 2 法学者による法解釈・法創造 52
- コラム⑥ クリウス事件における遺言解釈 52
- 3 法学派の形成 55
 - 4 著作活動 57
 - 5 元首政期・帝政後期における法解釈・法創造 58

第2部 中世の西洋法史

第6講 中世法学のはじまり [通史] ————— 65

- 1 「王国」の登場とキリスト教 65
 - 2 新たな「帝国」の登場とキリスト教 68
 - 3 中世法学の登場とキリスト教 69
- コラム⑦ 卑俗ローマ法と部族法典 77

第7講 中世法学の展開 [通史] ————— 78

- 1 註解学派の登場 78
 - 2 人文主義法学の登場 83
 - 3 神聖ローマ帝国での取り組み 86
- コラム⑧ 法書 90

第8講 法学部の登場と発展 [トピック] ————— 91

- 1 ボローニャ大学の成立と発展 91
- 2 註解学派における変化 94
- 3 イタリア外の西ヨーロッパ大陸における法学 97
- 4 イングランドにおける法学 100
コラム⑨ バリスタ・ソリシタの登場 104

第9講 訴訟手続と裁判機構 [トピック] ————— 105

- 1 手続法の分化と整備 105
- 2 各地の裁判所と法曹 108
- 3 イングランドにおける訴訟手続 112
コラム⑩ 国王・皇帝からの裁判所の分化 116

第10講 法学者と法学の広がり [トピック] ————— 117

- 1 法学者と権威 117
- 2 各地域での「法」分化 118
- 3 イングランドでの法学教育 125
コラム⑪ 法学習とその場所 129

第3部 近世の西洋法史

第11講 繋がりゆくヨーロッパと世界 [通史] ————— 133

- 1 近世西洋法史へのいざない 133
- 2 宗教から世俗へ 135
- 3 主権国家の胎動 137
- 4 学際としての法学 140
- 5 市場経済の成立とグローバル化する交易 142
コラム⑫ 歴史的方法論の課題 144

第12講 マイノリティたちの西洋法史 [通史] ————— 145

- 1 ケアの法史 145
 - 2 航海、植物、中絶 149
 - 3 魔女狩り 152
- コラム⑬ ケアの倫理とケアの法史 156

第13講 西洋法史における主権国家の萌芽 [トピック] — 158

- 1 国家における司法の統一 158
 - 2 国家における宗教の監督 164
 - 3 主権の相互承認 166
- コラム⑭ ドイツ以外の地域における世俗の優位 169

第14講 西洋法史における近世自然法論の役割 [トピック] — 170

- 1 自然法とは何か? 170
 - 2 法典編纂 172
 - 3 国際法の誕生 176
- コラム⑮ 自然法と人定法との関係 180

第15講 市場経済の成立と西洋法史 [トピック] ————— 182

- 1 価格決定の自由 182
 - 2 貨幣論と法制度 186
 - 3 金銭消費貸借は交換的か? 190
- コラム⑯ 契約類型論の迷宮 193

第4部 近代の西洋法史

第16講 ドイツ同盟から北ドイツ連邦まで [通史] ————— 197

- 1 フランスによるドイツの支配の時代 197
- 2 解放戦争後のフランスとドイツ 200
- 3 三月革命と法 202

- 4 法典論争 204
- 5 ドイツの立法の状況 205
 - コラム⑰ 法典編纂に関するプファイファーの見解 208

第17講 ドイツ帝国からナチス政権まで [通史] ————— 209

- 1 ドイツ帝国 209
- 2 ヴァイマル共和国 212
- 3 ナチス政権期 216
 - コラム⑱ ナチス時代の司法 220

第18講 出版・結社の自由、課税権・予算権 [トピック] — 221

- 1 出版の自由 221
- 2 結社の自由 224
- 3 課税権・予算権 227
 - コラム⑲ ハッセンプフルークとグリム兄弟 231

第19講 法源、契約、所有 [トピック] ————— 232

- 1 法源論 232
- 2 契約の自由と契約の正義 234
- 3 所有の自由と権利濫用の禁止 239
 - コラム⑳ 法秩序についての思想 242

第20講 プロイセンの法曹養成 [トピック] ————— 243

- 1 裁判官試験制度の整備 243
- 2 試験実施の影響 246
- 3 弁護士制度 248
- 4 弁護士人口と法的助言 250
 - コラム㉑ 法曹集団の形成とローマ法の継受 253

史料出典 255

学習に役立つ参考文献 262